

第5学年 学級活動（3）指導案

指導者 教諭 波多野 八朗

1 日時 令和2年7月31日（金） 9：30～11：30

2 場所 広島県立教育センター 特別支援教育棟 第8研修室

3 題材 「仲間と作ろう，My ドリームプラン」

ア 現在や将来に希望や夢をもって生きる意欲や態度の育成

4 題材について

（1）児童の実態

所属校第5学年が第4学年時に行った児童生活アンケート（令和元年12月）の一部項目の結果は次のとおりである。

児童生活アンケート

項目	肯定的回答の割合（％）	学校平均差
「なぜだろう」「やってみたい」と思いながら、問題を解決しています。	71.0	－9.3
自分から進んで役に立つ行動ができます。	60.5	－24.9
グループやペアで話し合うと、勉強がよくわかります。	55.3	－30.6
困ったときに相談のできる友だちがいます。	78.9	－4.9

また、児童生活アンケートの規範意識に関する項目に対しても、肯定的回答の割合が学校平均と比べて20ポイント以上低く、学校生活において、学習面・生活面を問わずルールを破ったり、友だち同士でトラブルを起こしたりすることが多く、すぐに不平や不満を口にしたり、人のせいにしたりする児童もいる。

一方で、興味があることや学校行事などの目的が明確になっている活動に対しては、意欲的に取り組む。

所属校第5学年の児童は、全体的に学習意欲が低いとともに、自己決定をすること、自己存在感（自己有用感）をもつこと、共感的人間関係を築くことに課題があり、自己指導能力が十分に高まっていないが、目的をはっきりと意識させ活動に取り組ませると意欲的になると考えられる。

これらのことから、児童が自らの目標を確立し、目標達成のために、他者との関わりの中で、その時、その場で、どのような行動ができるかを自分で考え、実行する自己指導能力を育てることが必要だと考える。

（2）題材設定の理由

本題材は、児童が、自分の夢や目標に向けての計画を他者と関わりながら考え、自己実現を目指すものである。小学校学習指導要領（平成29年告示）解説特別活動編では、「学級活動の内容『（3）一人一人

のキャリア形成と自己実現』ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の育成『学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする』と示している。

指導にあたっては、次の3点に取り組む。

1点目は、自己指導能力を育成するために、生徒指導の三機能を取り入れる。具体的には、資料提示の工夫や自分の考えを書いたり発言したりする場面の設定などにより自己決定の場を与えること、児童が目標に向かってチャレンジできる場の設定やグループ学習の活用などにより自己存在感を与えること、課題解決に向けての教え合いの場面の設定やお互いの良さを認め合う場面の設定などにより共感的人間関係を育成することを意識していきたい。

2点目は、児童が自分自身の夢や目標に関心がもてるように、事前のアンケートを活用して、自分自身を振り返り、自分の良さや課題に気付かせ、自己理解を図らせる。

3点目は、児童の将来に関わる興味をひくような各種データをクイズを取り入れながら紹介することにより、働くことの意義を感じさせるとともに、将来への関心をもたせ、自分の夢や目標を書かせるようにする。その際、夢や目標については、自分の思いをもつことを目指すため、将来の夢や目標に限定せず、自分がやりたいことや好きなことなどでも良いことにし、児童の思考を通して夢や目標を意識できるようにさせたい。

自分の夢や目標に向けての計画を他者と関わりながら考えていく場面では、本題材の中心活動となるPATHを作成する。PATHは、1991年に、カナダにおいて、Forest氏らがインクルージョン教育を推進するための具体的な手立てとして開発したもので、障害者本人とそれに関わる多くの人が、その人の夢や希望に基づいてゴールを設定し、ゴール達成に向けて話し合いをしながら問題を解決していく課題解決のツールである。

PATHは、スモールステップでゴールに向かうこと、ゴールに向かうまでの過程に誰かの助けを必要とすること、本人を含め複数でシートを作成することに特徴があり、PATHシートの表現や書き方の説明、グループ学習に配慮することで、通常の学級においても活用できると考える。また、生活や学習に困難さのある児童が複数いる当該学年は、人と関わり合いながら夢や目標の実現への方策を考えたり、誰かの助けを必要としながらスモールステップで学習を進めたりすることのできるPATHを活用する取組が、自己実現に効果的だと考える。さらには、夢や希望に向けて自己決定を重ね、児童自身と児童に関わる人たちが話し合いながら課題解決を図り、自己存在感を感じたり共感的人間関係を育成したりすることのできるPATHの過程を活用することで、児童の自己指導能力の育成を図ることのできる題材である。

5 第5学年及び第6学年の評価規準

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	夢や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解している。 自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自分の良さや課題を意識しながら、夢や目標について考えることができる。 夢や目標を達成するために、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	他者と協働して、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。

6 題材計画（学級活動全4時間＋裁量時間）

※My ドリームプランはP A T Hシートのこと

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
○月○日（ ） の帰りの会	・今の自分を振り返るアンケートに記入する。	・自分なりに真剣に考えることを約束し，自分の思いを素直に書くことを評価する。	◎アンケートに答えることで，今の自分を振り返り，学習への見通しをもとうとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉
○月○日（ ） 【学級活動の授業1/4】	・働く目的を考える。	※本時案参照	◎夢や目標をもつこと，働くことや学ぶことの意義を理解している。 【知識・技能】〈ワークシート〉
○月○日（ ） の家庭学習	・自分の夢や目標を記入する。	・将来の夢や目標に限らず，やってみたいことや好きなことでも良いことを伝え，自分の思いを書くことを評価する。 ・将来の夢に関する本やインターネットのサイトを紹介したり，やってみたいことや好きなことからイメージを広げさせたりして，夢や目標が具体的な職業になるように助言する。 ・必要に応じて，夢や目標に関する資料を集めておくように伝える。	◎自分の良さや課題を意識しながら，夢や目標について考えることができています。 【思考・判断・表現】 〈ワークシート〉
○月○日（ ） 【学級活動の授業2・3/4】	・自分の夢や目標に向けてできることを決める。	※本時案参照	◎将来の夢や目標の達成に向けて必要なことについて話し合い，自分に合った実践を意思決定している。 【思考・判断・表現】 〈My ドリームプラン〉
○月○日（ ）以降 ○月○日（ ）までの日常生活	・意思決定したことを実践する。	・一人一人の意思決定したことを掲示し，実践への意欲付けとなるようにする。 ・My ドリームプランは，キャリアノートファイルに綴じさせ，いつでも振り返られるように管	◎将来の夢や目標の実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 【知識・技能】〈観察〉 ◎将来の夢や目標の達成に向けて意思決定したことを実

		理させる。	<p>践している。</p> <p>【思考・判断・表現】〈観察〉</p> <p>◎友だちと励まし合いながら、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。</p> <p>【主体的態度】〈観察〉</p>
<p>○月○日（ ）</p> <p>【学級活動の授業4/4】</p>	<p>・自分で立てた夢や目標、実践について振り返り、友だち同士で実践を確認し合う。</p>	※本時案参照	<p>◎将来の夢や目標の達成に向けて意思決定して実践していることを友だちと一緒に振り返り、自分に合ったさらなる実践を意思決定している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>〈My ドリームプラン、観察〉</p>
<p>○月○日（ ）以降で、学年末までの月末の帰りの会</p>	<p>・意思決定したことを振り返りながら実践を継続する。</p>	<p>・PATHのステップの一つである1ヶ月をめどに実践を振り返る機会を定期的に設定し、継続した実践になるように、必要に応じて夢や目標、実践を見直したり修正したりすることができるように助言する。</p> <p>・学年末までMy ドリームプランの振り返りをさせ、学年末のキャリアノートの記入につなげさせる。</p>	<p>◎将来の夢や目標の実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。</p> <p>【知識・技能】〈観察〉</p> <p>◎将来の夢や目標の達成に向けて意思決定したことを実践している。</p> <p>【思考・判断・表現】〈観察〉</p> <p>◎友だちと励まし合いながら、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。</p> <p>【主体的態度】〈観察〉</p>

7 本時

①学級活動 1 / 4

【ねらい】

将来に関わる情報を知り、働くことの意義を理解することができる。

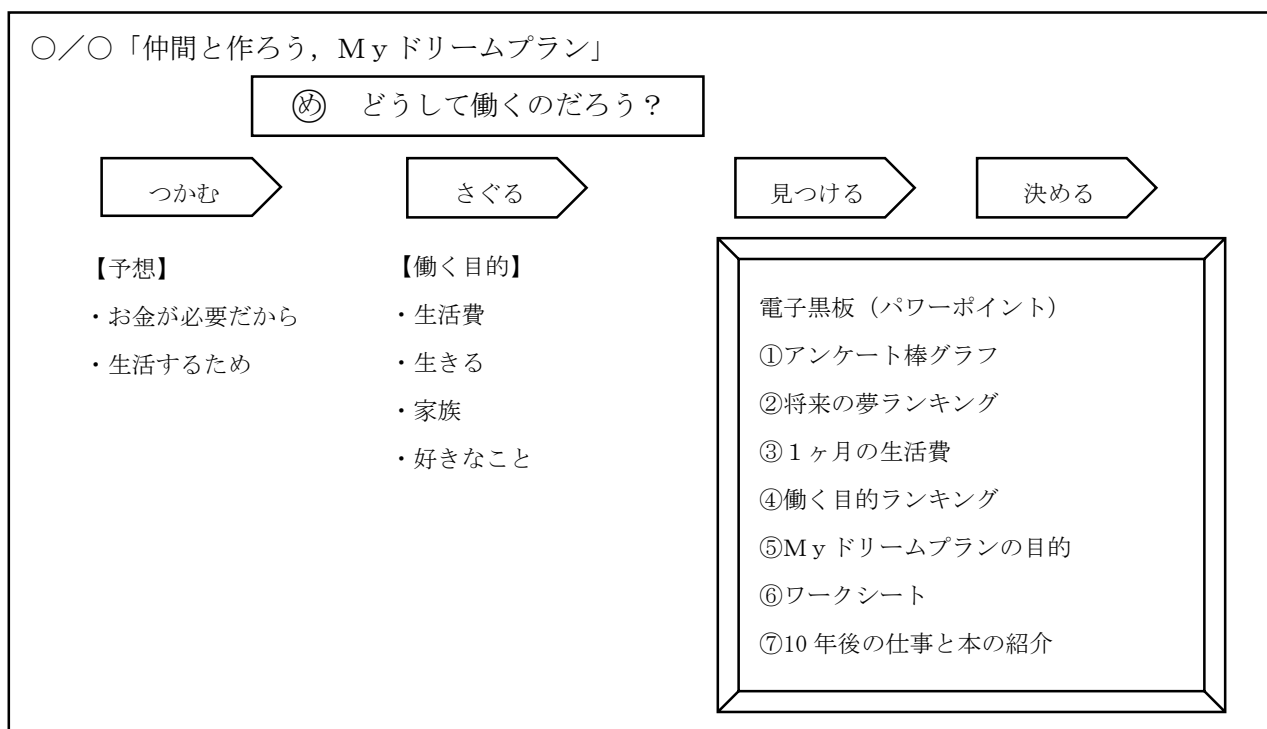
【展開】

	児童の活動	指導上の留意点 生徒指導の三機能	資料	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
導入 つかむ (10)	1 アンケートの結果を知り、課題意識をもつ。	・事前アンケートから、本時につながる項目を選択してグラフにまとめ、課題意識をもたせる。 自己決定	・アンケート結果のパワーポイント	
	2 全国の小・中・高校生の将来の夢ランキングを知る。	・クイズ形式で紹介することで、将来の夢に興味をもたせる。 ・自分たちと同じ将来の夢があることに気付かせ、夢や目標をもつことに共感できるようにさせる。 自己決定	・将来の夢ランキングのパワーポイント	
	どうして働くのだろう？			
		・本時のめあてに対する答えを考えさせ、本時の最後の考えと比較できるようにしておく。		
展開 さぐる (10)	3 1ヶ月にかかる生活費を知る。 ○グループで考える。	・総務省が調査した一人暮らしの家計調査の具体的なデータをもとに考えさせることで生活費に興味をもたせる。 ・複数の選択肢をもとに、金額から費目を考えるクイズ形式にし、グループで話し合いながら答えを考えさせる。 自己存在感 共感的人間関係	・生活費に関するパワーポイント ・ワークシート	
	○答えを知る。	・平均的な家庭の1ヶ月の生活費の資料を加え、自分たちの家族の生活費も意識させるとともに、日々の生活にはいろいろな生活費が必要なことや	・生活費に関するパワーポイント ・ワークシート	

		<p>働くことの大切さに気付かせる。 <div>自己決定</div></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 ヶ月にかかる生活費に関する感想を交流させることで、仕事と生活費のつながりを強調し、働く目的の学習につなげる。 		
<p>展開</p> <p>見つける</p> <p>(13)</p>	<p>4 働く目的ランキングを知る。</p> <p>○グループで考える。</p> <p>○答えを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働く目的ランキングを考えさせることで、働く目的は生活費のため以外にもあることに気付かせる。 ・ 働く目的は人によってさまざまであることを伝え、グループで話し合うことによって多様な意見を考えさせる。 <p><div>自己存在感</div> <div>共感的人間関係</div></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お金に関する目的には、生活費もあるが、趣味のお金など、他の目的もあることを伝える。 ・ 複数のデータや文献からの資料を加え、いろいろな働く目的を知らせることで、働くことへの興味をもたせる。 <p><div>自己決定</div> <div>自己存在感</div></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロサッカー監督のやりがいの一つを紹介する。 <p><div>自己決定</div> <div>自己存在感</div></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働く目的に関するパワーポイント ・ ワークシート <ul style="list-style-type: none"> ・ 働く目的に関するパワーポイント ・ ワークシート 	
<p>終末</p> <p>決める</p> <p>(12)</p>	<p>5 本時を振り返り、次時への意欲をもつ。</p> <p>○本時の振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のめあてを意識しながら振り返りを書くように伝え、本時の導入で考えた答えと比較させ、本時の学びを実感させる。 <p><div>自己決定</div></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ My ドリームプランの目的を伝え、次時に向けての意欲を 	<ul style="list-style-type: none"> ・ My ドリームプランの目的 ・ ワークシート 	<p>◎夢や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解している。</p> <p>【知識・技能】 〈ワークシート〉</p>

	<p>○次時につながる情報を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年後の仕事 ・将来に関する本の紹介 	<p>もたせる。 自己決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの終息がみえない今だからこそ、自ら目標を考え、それに向けて行動する力が求められることを伝える。 ・10年後になくなるかもしれない仕事と残る可能性の高い仕事、「13才のハローワーク」の本を紹介し、将来の仕事に関する問題点を自分たちの課題として捉えさせるとともに、将来の仕事に対する興味を高めさせ、次時までに「幸せの一番星」を書かせる。 <p>自己決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年後になくなるかもしれない仕事と残る可能性の仕事については、それらの仕事の共通点も考えさせ、これから必要になってくる力に気付かせる。 	<p>・次時につながる情報のパワーポイント</p>
--	---	---	---------------------------

【板書計画】



②学級活動 2・3 / 4

【ねらい】

将来の夢や目標の達成に向けて必要なことについて話し合い、自分に合った実践ができる。

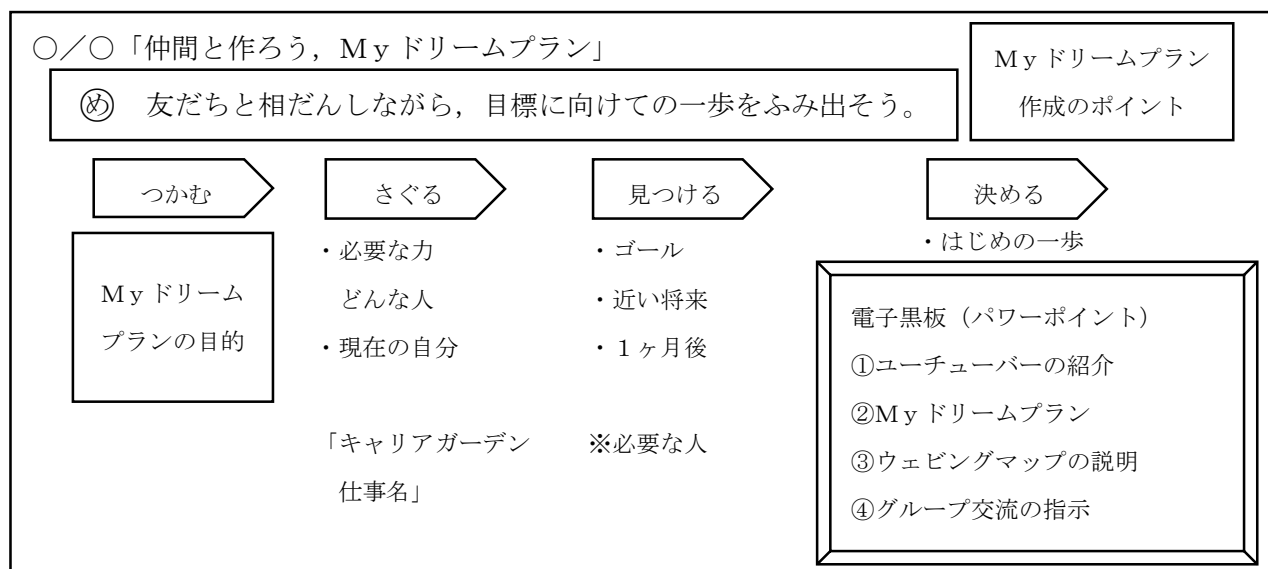
【展開】

	児童の活動	指導上の留意点 生徒指導の三機能	資料	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
導 入 つ か む (10)	1 画像を見ながら 本時のめあてを知る。	・ユーチューバーを例に紹介し、 学習への興味をもたせる。	・ユーチュー バーのパワ ーポイント	
	友だちと相談しながら、夢や目標に向けての一步をふみ出そう。(やってみようと思うことを決める)			
	2 My ドリームプ ランを確認する。 ①幸せの一番星 ②必要な力・どん な人 ③現在の自分 ④ゴール ⑤近い将来 ⑥1ヶ月後 ⑦はじめの一步 ※必要な人	・「幸せの一番星（夢や目標）」 については、事前に書かせて おく。 ・My ドリームプランを作成す る際のポイントを提示し、友 だちと一緒に活動しやすい雰 囲気を作る。 自己存在感 共感的人間関係 ・困ったときにはグループでア ドバイスをし合うように助言 するとともに、「困った」や「わ からない」とグループ内で言 えることを評価し、グループ のメンバーが友だちの困って いることに気付けることの大切 さを伝える。 自己存在感 共感的人間関係 ・My ドリームプランには、グ ループのメンバーの名前を書 く欄を設け、友だちとともに 作成することを意識させる。 自己存在感 共感的人間関係	・My ドリー ムプラン ・My ドリー ムプランの 作成ポイン ト	
	3 My ドリームプ ランの「必要な 力・どんな人」と 「現在の自分」を 考える。 ○グループでメン バー一人一人の My ドリームプ	・My ドリームプランの①から ③までの書き方を説明し、学 習の見通しをもたせる。 自己決定	・My ドリー ムプランの パワーポイ ント	

<p>展 開 さ ぐ る (35)</p>	<p>ラン作成のための情報を集める。</p> <p>○自己決定をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習等を活用してもMyドリームプラン作成のための情報が出にくい場合は、適宜全体に紹介し、みんなで考える時間をとる。 自己決定 自己存在感 共感的人間関係 ・グループのメンバーの夢や目標に対して、ウェビングマップを活用して、「必要な力・どんな人」の情報を広げさせる。 自己決定 自己存在感 共感的人間関係 ・途中で「必要な力・どんな人」をタブレットで調べられるサイトを紹介する。なお、事前に、児童が書いた夢や目標を把握し、タブレットでの検索に困った児童に助言できるようにしておく。 自己決定 ・ウェビングマップとタブレットの検索の時間を区切って指示することで、全員に両方からの情報を集めさせる。 自己決定 ・集めた情報をもとに書かせるが、グループの友だちとはアドバイスをし合っても良いことを伝える。 自己決定 自己存在感 共感的人間関係 ・グループの友だちからのアドバイスを受けながら自分自身のMyドリームプランを書くことにより、他者受容も含めた自己理解を図らせる。 自己決定 自己存在感 共感的人間関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・Myドリームプラン ・ウェビングマップ ・タブレット端末 ・Myドリームプランのパワーポイント ・Myドリームプラン ・ウェビングマップ ・タブレット端末 	
	<p>4 Myドリームプランの「ゴール」「近い将来」「1ヶ</p>			

		<p>に行く時間を取り，自分のプランやグループのメンバーへのアドバイスの参考にさせる。その際，いろいろなグループのプランが見られるように，別のグループを見に行くルールを決めておく。</p> <p>自己決定 自己存在感 共感的人間関係</p>		
終末 決める	<p>5 My ドリームプランの「はじめの一步」を決める。</p> <p>(15) 6 友だちと一緒に考えた感想を発表する。</p>	<p>・My ドリームプランの⑦の書き方を説明し，「はじめの一步」の記入のポイントを伝える。 自己決定</p> <p>・グループのメンバーと考えてきたことを生かして，「はじめの一步」を決めさせる。 自己決定</p> <p>・友だちと考えることでいろいろな考えにふれられることを伝え，学び合う良さに気付かせる。 自己存在感 共感的人間関係</p>	<p>・My ドリームプランのパワーポイント</p> <p>・MY ドリームプラン</p>	<p>◎将来の夢や目標の達成に向けて必要なことについて話し合い，自分に合った実践方法を意思決定している。</p> <p>【思考・判断・表現】 〈My ドリームプラン〉</p>

【板書計画】



③学級活動 4 / 4

【ねらい】

自分で立てた夢や目標、それにつながる実践について友だちと一緒に振り返り、これからの自分に必要なことを適切に判断することができる。

【展開】

	児童の活動	指導上の留意点 生徒指導の三機能	資料	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
導入 つかむ (10)	1 夢や目標につながる名言を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 夢や目標に関する名言を紹介し、みんなで感想を交流させることで、本時の課題意識をもたせるとともに、改めて夢や目標に向けて行動することへの意欲をもたせる。 自己決定 夢や目標に関する名言を黒板に掲示し、感想を交流させる際の視覚的支援にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 名言を紹介するパワーポイント 	
	「はじめの一步」をふり振り返り、友だちと交流しながら、さらなる一步をふみ出そう。 (My ドリームプランを見直す)			
		<ul style="list-style-type: none"> My ドリームプランの目的とMy ドリームプランの作成のポイントを改めて提示する。 		
展開 さぐる (10)	2 自分で立てた夢や目標、実践を項目ごとに振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの書き方を説明し、学習の見通しをもたせる。 自己決定 My ドリームプランの「はじめの一步」について振り返らせ、グループ交流の際の資料にさせる。 自己決定 振り返りが早くできた児童には、実践できた理由やできなかった理由も考えるように伝え、グループ学習につなげさせる。 自己存在感 共感的人間関係 	<ul style="list-style-type: none"> My ドリームプランのパワーポイント My ドリームプラン 	
展開 見つける (17)	3 グループで、一人一人の振り返りの交流をする。	<ul style="list-style-type: none"> 実践できている児童の意見を参考にしたり、実践できていない場合は友だちからアドバイスをもらったりするように助言する。 自己存在感 共感的人間関係 実践できていない場合のアドバ 	<ul style="list-style-type: none"> My ドリームプランのパワーポイント My ドリームプラン 	

		<p>イスが進まないグループを把握し、その場合は全体の場で考えていけるように助言する。</p> <p>自己存在感 共感的人間関係</p>		
<p>終末</p> <p>決める</p> <p>(8)</p>	<p>4 My ドリームプランを見直す。</p>	<p>・My ドリームプランの見直しが難しい児童には、グループでアドバイスをするように助言したり、友だちのシートを全体に紹介したりする。</p> <p>自己決定 自己存在感 共感的人間関係</p>	<p>・My ドリームプランのパワーポイント</p> <p>・My ドリームプラン</p>	<p>◎将来の夢や目標の達成に向けて意思決定して実践していることを友だちと一緒に振り返り、自分に合ったさらなる実践を意思決定している。</p> <p>【思考・判断・表現】 〈My ドリームプラン、観察〉</p>

【板書計画】

○／○「仲間と作ろう，My ドリームプラン」

④ 「はじめの一步」をふり返り，友だちと交流しながら，さらなる一步をふみ出そう

つかむ

さぐる

見つける

決める

印象に残る名言を見つけよう！

「はじめの一步」をふり返ろう！

グループでアドバイスをし合って，プランの見直しをしよう！

電子黒板（パワーポイント）

- ・有名人や偉人の名言
- ・My ドリームプラン



令和〇年〇月〇日

自分で考えてみよう！

名前（ ）

○ 次の質問に対して，当てはまるものを選び，その番号を○でかこんでみましょう。

		よく 当てはまる	やや 当てはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない
(1)	あなたは，興味や関心をもち，自分から進んで学習に取り組んでいますか。	4	3	2	1
(2)	あなたは，授業中一人で調べたり，考えたりしていますか。	4	3	2	1
(3)	あなたは，自分の考えをみんなの前で，発表していますか。	4	3	2	1
(4)	あなたは，学習の仕方を自分で見つけたり，選んだりしていますか。	4	3	2	1
(5)	学校は，楽しいですか。	4	3	2	1
(6)	あなたは，みんなと学習するのは，楽しいですか。	4	3	2	1
(7)	先生や友だちは，あなたのがんばりをわかってくれますか。	4	3	2	1
(8)	あなたは，自分の仕事を責任をもって最後までやりとげていますか。	4	3	2	1
(9)	あなたは，友だちが発表しているとき，うなずきながら話をよく聞いていますか。	4	3	2	1
(10)	あなたは，友だちの答えがまちがっていても，いじわるなことを言わないで最後まで聞いていますか。	4	3	2	1

【自分の夢や興味のある仕事】

※いくつ書いてもいいです。夢や仕事が思いつかなかったら，自分がやってみたいことを書いてみましょう。

		よく 当てはまる	やや 当てはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない
(11)	あなたは，友だちと協力して学習していますか。	4	3	2	1
(12)	あなたには，困っているときに助けたり手伝ったりしてくれる友だちがいますか。	4	3	2	1
(13)	あなたは，自分のことが好きですか。	4	3	2	1
(14)	あなたは，自分の良いところがわかりますか。	4	3	2	1
(15)	あなたは，自分の悪いところがわかりますか。	4	3	2	1
(16)	あなたは，自分の良いところをもっと伸ばそうとしていますか。	4	3	2	1
(17)	あなたは，自分の夢がかなうようにながらんでいますか。	4	3	2	1
(18)	あなたは，あいさつ（おはようございます，さようならなど）をしていますか。	4	3	2	1
(19)	あなたは，生活の約束を守るようにしていますか。	4	3	2	1
(20)	あなたは，大切にしていること（もの）がありますか。	4	3	2	1

【仲間と作ろう，My ドリームプラン】

令和 年 月 日

My ドリームプラン

名前 ()

グループのメンバー ()



① 幸せの一番星

(夢や目標)

② 【必要な力・どんな人】

③ 【現在の自分】



※必要な人・・・助けてくれる人
力をかしてくる人

※必要な人

④ ゴール
(小学校卒業)

⑤ 近い将来
(5年生の終わり)

⑥ 1ヶ月後

⑦ はじめの一步（今から自分にできること）

My ドリームプランの「はじめの一步」を振り返りましょう。「評価」のところは◎・○・△・×で自己評価をしましょう。「理由・感想」のところは、自分ががんばれた理由、がんばれなかった理由、取り組んだ感想などをできるだけ詳しく書いてみましょう。「新たな一步」のところは、My ドリームプランに書いていなかったことで、今ならできそうだなと思うようになったことがあれば書いてみましょう。左のMy ドリームプランも積極的に変えていきましょう。変えていくのはいいことなので、変えたい場合は、今まで書いたことを消さずに、赤で付け加えるようにしましょう。

[illegible]